



SSHマンスリー



スーパーサイエンスハイスクール通信

冬季特設課外授業(先端科学技術講座) in和歌山大学

教育学部



物理



化学



生物



地学

十二月十日(火)、和歌山大学教育学部、及びシステム工学部で、教養理学科二年生による冬季特設課外授業を行いました。大学の先生方のご指導の下、午前は教育学部で物理・化学・生物・地学の各分野に分かれて実習を行いました。

物理では、オシロスコープ等の装置を使って光の速度を測定し、化学では、赤外分光光度計と核磁気共鳴装置を使って試料を分析しました。また生物ではニジマスの解剖とニジマスから採血した血液の血しょうタンパク質を定量し、地学では、樹脂と石膏を使って化石(アンモナイト)のレプリカを作成しました。

午後からは、システム工学部情報通信システム学科で「視覚を持つコン

システム工学部



ピューター」と「拡張現実感とディスプレイ技術」についての講義後、研究室を見学させていただきました。高価な精密機器を実際に使用したり、研究中の先端技術を体感することができました。

また、学生食堂で、大学生に交じって昼食をとったり、研究室の様子を見学させてもらったこともあり、大学生気分を味わうこともでき、今後の進路を改めて考えるきっかけにもなりました。

情報通信システム学科

青少年のための科学の祭典 -2013あもしろ科学まつり-和歌山大会

十二月十四・十五日(土・日)、子どもたちに科学の楽しさを伝えるイベント「あもしろ科学まつり」が和歌山大学で開催されました。

今年是和歌山大学の他、県内の企業や団



雲の発生

第16回わかやま自主研究フェスティバル 最優秀賞を受賞!!



大気圧の実験

体、中学校・高校の科学部などの計四十六ブースが出席し、本校からは「気圧の実験」というテーマで参加しました。その他の出展ブースには、地震などで発生する液化現象の仕組みを実験で再現したものや、ロボットの操縦体験など様々な分野から出展していました。

本校のブースでは、気圧の変化でマシユマロが大きく膨らむ様子や、ペットボトルに白い雲ができる現象について、生徒が解説を入れながら紹介しました。また、同会場で十四日に行われた「わかやま自主研究フェスティバル」で、キシノウエトタテグモの研究3が最優秀賞を受賞しました。